

一般社団法人 東京中小企業家同友会

東京中小企業家同友会
since1957

団体概要

所在地：東京都千代田区

会員数：約2,300名（都内23区多摩4地区にある2,215事業場）

事業内容：1社だけで出来ないことも会員同士のネットワークの中で共同
 できることもある。異業種交流、共同求人、社員教育、事業
 協同組合など個別企業で解決できない問題を解決し、時代を
 リードする共同事業。

申請年度：令和5年度

活用の
背景と目的

今回の助成金を活用し

- ・メンタルケアやそれを支える仕組みづくりの周知啓蒙を行う講座を開設。
- ・中小企業事業者1社で資金的にも人的にも難しい相談窓口を（一社）日本産業カウンセラー協会様と共同開設。社内に相談窓口を開設した場合に比べ、相談のし易さや専門家によるカウンセリングなど対処も行っている。

申請するまでの流れ

時期	実施したこと
令和5年度分申請	
令和5年9月	助成金の存在を知り、申請
令和5年10月	メンタルヘルスラインケアセミナーを実施
令和5年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「従業員の心の健康を守るための仕組みづくりと無料サービスの活用法」研修を実施 ・ハラメント防止対策セミナーを実施 ・「メンタル不調者が出たときの会社対応の基本」研修を実施 ・睡眠改善セミナーを実施

会員に提供するサービスの内容

令和5年度実施内容

○ メンタルヘルスラインケアセミナー

（10月24日 構成事業主及び管理職4名に対し実施）

（リーフレット裏面の申請サービス⑦）

- ・メンタルヘルス活動を始めたばかりでとても参考になった。
- ・経営者として従業員のメンタルを守るために行うべきことが理解できた。

- **従業員の心の健康を守るための仕組みづくりと無料サービスの活用法研修**
(12月7日に「オンライン」開催で従業員9名に対し実施)
(リーフレット裏面の申請サービス⑦)
 - ・外部に相談できる機関があることがわかり、今後活用したい。
- **ハラメント防止対策セミナー**
(12月11日に「オンライン」開催で従業員7名に対し実施)
(リーフレット裏面の申請サービス⑦)
 - ・職場のハラメント問題の難しさを実感した。自分自身気を付けたい。
- **メンタルヘルス不調者が出たときの会社対応の基本**
(12月13日に「オンライン」開催で従業員5名に対し実施)
(リーフレット裏面の申請サービス⑦)
 - ・これまで会社としてどう対応したらいいかわからなかったので、とても有意義だった。
- **睡眠改善セミナー (12月15日に「オンライン」開催で従業員5名に対し実施)**
(リーフレット裏面の申請サービス⑦)
 - ・睡眠の重要性が良く分かった。相談するタイミングを逃さないようにしたい。

取組の成果

個別相談件数に至る件数が少ないことは、講座によるメンタルヘルスへの理解や職場での環境づくりが反映した結果と考えています。

今後もこうした啓蒙活動を行い社員の方が安心して働ける職場づくりを経営者と共に築いていきたい。

申請に当たり 苦労した点

連携企画のため開始までの期間2か月程度だったため申請がぎりぎりになってしまいました。

これから申請 を検討してい る団体への アドバイス

助成金の活用が働く環境整備を推進するよい機会となりました。1社でできないことを共同で行うことで多くの企業で環境整備の一助となり安心して働ける職場づくりに役立てていただけたと考えております。

